

市町村名	渡名喜村							
令和５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	1-①	環境保全美化推進事業			新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-3-(10)-ウ		
	担当部課名	経済課	事業実施 （予定）年度	平成24年度 ～ 令和13年度		沖縄振興基本方針 該当箇所	観光リゾート産業の振興	
事業内容		魅力的な観光地としての景観形成を図るため、集落内及び観光地周辺の清掃美化、外来植物の駆除及び在来植物の保全育成を行う。						
効果発現年度	■ 当年度 □ 後年度（ 年度）							
実施方法	□ 直接実施 ■ 委託 □ 補助 □ 負担 □ その他（ ）							
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋ 「市町村負担」 ベース）			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	予算 の 状 況	(a) 当初予算額	35,412	24,756	30,140	31,800	43,670	
		(b) 予算現額	31,889	24,682	25,520	31,107	35,492	
		(c) 増減額 (b-a)	▲ 3,523	▲ 74	▲ 4,620	▲ 693	▲ 8,178	
		(d) 繰越額						
		A. 計 (b+d)	31,889	24,682	25,520	31,107	35,492	
	B. 執行済額		20,198	24,682	25,040	30,346	35,492	
	うち交付金充当額		16,158	19,745	20,032	24,275	28,393	
	次年度繰越額							
	執行率（％）（B/A）		63.3%	100.0%	98.1%	97.6%	100.0%	
予算の状況の説明		作業員の人数確保に苦労した部分はあったが、箇所の変更等もなく指定箇所全てを履行することができ執行率も100%となった。						
活動目標 （指標） 及び達成状況	R5活動目標（指標）		達成状況					
				R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	緑化及び美化活動実施箇所	目 標		(17箇所)	(14箇所)	(14箇所)		
		実 績		18箇所	14箇所	14箇所		
	外来植物駆除実施箇所	目 標		(10箇所)	(9箇所)	(9箇所)		
		実 績		10箇所	9箇所	9箇所		
	在来植物保全育成実施箇所	目 標		(1箇所)	(1箇所)	(1箇所)		
		実 績		1箇所	1箇所	1箇所		
	集落内美化	目 標		(88箇所)	(40箇所)	(41箇所)		
		実 績		40箇所	40箇所	41箇所		
指定箇所の実施	目 標	(3回)						
	実 績	1回						
達成 状況 説明	人員の確保が困難であったが、天候に恵まれ集落内41箇所、集落外24箇所全て安定的な景観・美化の維持が出来た。							
成果目標 （指標） 及び進捗状況	R5成果目標（指標）			基準値 （ 年度 ）	R3年度	R4年度	R5年度	目標値 （ 年度 ）
	集落内及び観光地周辺の環境及び景観形成について、魅力的な観光地としての景観形成が図られたか(80%以上)を含め、アンケートにより本事業のあり方を検証する。		目 標	()	(80%)	(80%)	(80%)	()
			実 績		100%	100%	85%	
進捗 状況 説明	フェリー待合所にて、観光客の満足度調査を実施した。4月～3月までのアンケート結果を集計したところ、目標を超える84. 5%の観光客から満足したとの回答が得られた。							

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	・入域観光客数について、令和4年度は422人、令和5年度は1098人とコロナ明けのため、少しずつ伸びている。 ・環境保全美化推進事業にて、島をキレイに整備することで、訪れる方々を癒し、また来たいと思ってもらえたことが目標達成の要因と考えられる。	・事前に実施工程等の確認等について連携することで、効果的に事業を実施する。 ・成果目標については、アンケート調査以外に効果的な目標設定が難しいため、現状のアンケート調査を継続する。
今後の取り組み方針		
・受託業者と施工監理を共有し、優先順位及び進捗状況の定期的な確認に取り組むことで、更なる魅力的景観形成に繋げる。 ・引き続き、年度毎に目標値の達成度調査を実施し、集計・分析を行い事業を運営する。		

資金の流れ （資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）														
<table><tr><th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr><tr><td>35,492</td><td>35,492</td><td>28,393</td><td>7,099</td><td>0</td></tr></table> 渡名喜村 35,492千円 委託料 35,492千円 大友建設(株) [環境保全・美化推進事業]					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	35,492	35,492	28,393	7,099	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
35,492	35,492	28,393	7,099	0										
資金の 使途の 流れ、 費目・ 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○島内において受託可能業者が限られることから、指名競争入札により選定している。 ○作業場所の面積を割り出し、実施回数及び1回あたりの施工日数も算出していることから適正な規模であった。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。											
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	渡名喜村							
令和５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	2－①	離島苦解消移動手段安定化対策事業		新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章－2－(8)－ア			
					人流・物流コスト低減と情報通信 基盤の強化			
担当部課名	総務課	事業実施 （予定）年度	平成25年度 ～ 令和13年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲ－9－(2)			
事業内容	島民及び来島者の交通手段を安定的に確保するため、フェリー欠航時等に代替手段となるヘリタクシーを利用した場合の運賃を、一部補助する。							
効果発現年度	■ 当年度 □ 後年度（ 年度）							
実施方法	□ 直接実施 □ 委託 ■ 補助 □ 負担 □ その他（ ）							
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋ 「市町村負担」 ベース）			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	予算 の 状 況	(a) 当初予算額	2, 400	2, 400	2, 400	2, 400	3, 200	
		(b) 予算現額	2, 400	720	288	2, 240	2, 240	
		(c) 増減額 (b-a)	0	▲ 1,680	▲ 2,112	▲ 160	▲ 960	
		(d) 繰越額						
		A. 計 (b+d)	2,400	720	288	2,240	2,240	
	B. 執行済額		864	720	288	1,152	640	
	うち交付金充当額		691	576	230	922	512	
	次年度繰越額							
	執行率（％） (B/A)		36.0%	100.0%	100.0%	51.4%	28.6%	
予算の状況の説明		予定していたフライト回数(50回)に至るまでのヘリタクシー利用者が少なかった為、当初より960千円減額した						
活動目標 （指標） 及び達成状況	R5活動目標（指標）		達成状況					
				R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	観光客及び島民に対するフライト実施 の支援回数35回	目 標	(50回)	(50回)	(50回)	(35回)		
		実 績	15回	6回	18回	10回		
		目 標	()	()	()	()		
		実 績						
達成 状況 説明	当該年度は、フェリー欠航時のヘリタクシー利用者の減少や、フェリー運航会社の欠航回数が減少したため、利用者減となった。							
成果目標 （指標） 及び進捗状況	R5成果目標（指標）			基準値 （ 年度）	R3年度	R4年度	R5年度	目標値 （ 年度）
	フェリー欠航時に代替手段となるヘリタクシーの 運賃補助を行うことで、利便性が確保されたか (80％以上)を含めて当該事業のあり方をアン ケートで検証する。	目 標	(80%)	(80%)	(80%)	(80%)	()	
		実 績		98%	100%	100%		
		目 標	()	()	()	()	()	
		実 績						
	進 捗 状 況 説明	本事業の利便性についてのアンケートを実施したところ、満足度100％の結果となり、目標を大きく上回り達成することができた。引き続 き事業を継続し、質の向上に努めたい。						

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	フェリー欠航時は予約が殺到するため、キャンセル待ちしても乗れない利用者がいる。	事前予約の検討や、1日のフライト回数について事業者と調整を行い、周辺離島を含め、平等に運航できる体制を整え、一定数のフライトを確保したい。
今後の取り組み方針		
渡名喜発の1日のフライト回数を一定数確保できるよう運航事業者と調整を行い、多くの利用者の利便性満足度の向上に努める。		

資金の流れ （資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）														
<table><tr><th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr><tr><td>640</td><td>640</td><td>512</td><td>128</td><td></td></tr></table> 渡名喜村 640千円 補助金 640千円 エクセル航空株式会社 640千円 （フライト料金の6割補助）					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	640	640	512	128	
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
640	640	512	128											
資金の 使途の 流れ、 点検 評価・	評価	点 検 項 目		評価に関する説明										
	○	支出先の選定方法は妥当か。		・県内で民間ヘリ輸送を行っている業者はエクセル航空のみであり、選定についても適正である										
	△	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。		・周辺離島との料金差を考慮して補助額を決定しているが、フェリー運航回数の減少や、りよの減少により目標フライト回数を下回ったため、フライト回数の設定の再検討を行う。										
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。		・受益者負担については、補助金交付規則に沿っており、妥当である。										
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		・費目・使途は、本事業のフライト料金のみ限定している。										